

「維新」政治

④

Q&A

どうつみる

Q 教育の分野では、私学無償化など、よくやっています。

「維新」は、大阪での「私立高校の授業料無償化」を運動がベースにあります。

「実績」に挙げています。

大学を含む「教育無償化」

は国連人権規約にうたわれ、

日本政府も批准している当然

の方向です。大阪の私立高校

は、実質無償化(年収590

万円未満世帯)されています

が、これは憲法の立場から、

教育費の軽減・無償化をめざ

す私学関係者の長年にわたる運動がベースにあります。その陰に隠れ、「維新」が進めた実際の教育とはどんなものだったのでしょうか。

橋下徹氏は知事就任早々、「小学校1・2年の35人学級」の廃止を打ち出しました。

PTAぐるみの百万署名で撤回させましたが、「維新」は

「35人学級」の独自拡充を拒

否し続け、いまだに国基準のままで。これは全国で3府県だけのワースト水準です。教育予算も減らしました。

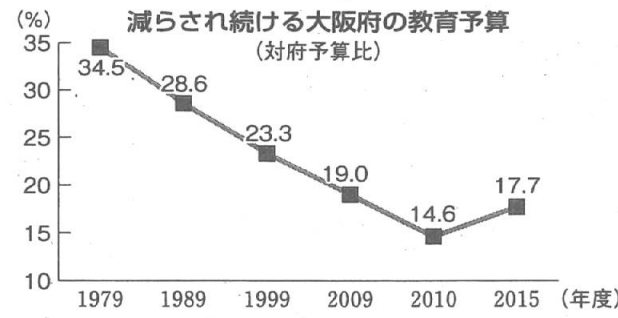
大阪でやってきたこと その2

異常な競争 教育破壊

「教育は2万%強制」という橋下氏のもとで、教育界が挙げて反対した「教育基本条例」が強行されました。その

もとで、全国学力テストの学校別公表を義務付け、3年連続定員割れの府立高校の廃止、校長「民間公募」などを推進しています。異常な競争で強いストレスがかかり、学校の「荒れ」が突出する事態を招いています。

教職員への命令と脅し、待遇悪化のなかで、大阪への教職志願者は激減しています。正規教職員をきちんと配置せず、「教育に穴があいた」といわれる事態も広がります。いま大問題になっているのは、大阪府独自の学力テスト(チャレンジテスト)です。全国いっせいの学力テストに加え、今年1月に中学1・2年生、6月に3年生を対象に実施しました。子どもたちがテスト漬けにされるだけではありません。チャレンジテストの結果を高校入試の内申点に反映させるといのです。おまけにこれは、学校ごとの評定平均が決定される「団体戦」で、平均点が悪い学校では、いい成績の生徒でも内申点が下げられる仕組みです。



教員1人当たりの児童生徒数 (2013年)	1人当たりの学校費 (2012年)	人口1人当たりの教育費 (2012年)
小 40位	小 43位	全国 45位
中 41位	中 45位	

「1回のチャレンジテストで内申点が決まってしまう」「入試がまったく不公平になる」と強い批判の声が上がっています。(つづく)